




学習過程(単元構成)の工夫

常に CESGR を意識したコミュニケーション

単元過程	目標	留意点
<p>出会う</p> <p>★ゴールの明確化</p> 	<p>本単元で学習する表現と出会い、日本(語)との違いや共通点に体験的に気付く。</p> <p>写真, 映像, ALT の先生を活用する</p>	<p>○単元のゴールの示し方や表現との出会わせ方を工夫し、単元の目標を持たせる。</p> <p>デモンストレーション・歌・映像・絵本・単元で作成するものを示す 等</p> <p><u>本校では、各教室にある電子黒板を積極的に活用している。</u></p> <p>○英語や日本語、外国の文化と日本の文化との違いや共通点などの気付きを引き出す。</p>
<p>慣れる</p> <p>★コミュニケーションのためのスキル</p> 	<p>本単元で学習する表現を繰り返し聞き活動を通して、その表現を聞くことに慣れ親しむ。</p> <p>本単元で学習する表現を繰り返し言ったり伝えたりする活動を通して、その表現を使うことに慣れ親しむ。</p>	<p>○表現を繰り返し聞くことに慣れる活動の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを意識させる。 ・学級全体、グループ、ペアなど学習形態の工夫をする。 ・他教科等との関連を図り、児童の意欲を高める工夫をする。 ・決められたことのみを話す活動から、徐々に自分で選んだり、考えたりしたことを話す活動へと活動内容を高めていく。 <p>○表現を繰り返し言うことに慣れる活動の工夫をする。</p> <p>○伝える活動を取り入れ、表現を使うことに慣れる活動を工夫する。</p>
<p>生かす</p> <p>★必要感のあるコミュニケーション活動</p> 	<p>本単元で学習した表現を生かして、友達と進んで関わりながら、コミュニケーションを図る。</p>	<p>○コミュニケーションの必要感や達成感が味わえるような活動を工夫する。</p> <p>※児童にとって魅力的なゴールを設定する。 ショー アンド テル、インタビュー活動、調査活動、クイズ大会、グループ制作活動、課題解決活動、疑似体験活動(～ごっこ)等 ※相手意識や目的意識、インフォメーションギャップのある活動を工夫する。</p>

3年生 Unit3「好きなものをつたえよう」の例

単元のゴール

「好きなものをいっぱい伝え合って、友だちはかせになろう」



好きな色、スポーツ、野菜
や果物についてインタビ
ューをする活動をしたい
なあ。

インタビューするためには
I like (色・スポーツ・果物・野菜)
Do you like ~?
の表現に慣れ親しませたいな。

単元のゴールに向けた逆思考型の単元計画
(バックワードデザイン)

単元のゴール

好きなもの
インタビュー

初めてのものが多い

第3時
野菜や果物の言い方

ねらいや、児童
の実態に合わ
せて語彙数や
取り扱う順番
を考える

日本語と似た音が多い

第2時
スポーツの言い方

既習のものが多い

第1時
色の言い方